

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名 (妊婦・乳幼児健康教室事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (020103000338), 所属課 (040401), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名), 財務会計上の位置付け (事業期間), 予算科目 (会計, 款, 項, 目, 事業, 細), 法令根拠 (母子保健法).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about 'パパ・ママクラス' and '乳幼児健康教室'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (担当者の活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), and ④活動指標/⑤対象指標/⑥成果指標. Includes data for 26-30 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 26-30 years, categorized by 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 人件費 (正規職員従事人数, 述へ業務時間, 人件費計(B)), and トータルコスト(A)+(B).

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 fiscal years, including 07 賃金 and 11 需用費.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	妊婦・乳幼児健康教室事業	事務事業No.	20103000338	所属課	健康推進課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? パパ・ママクラスについては、S41年に母子保健法が施行され、それに基づき、保健センター設置当時より妊婦を対象に開始し、現在に至る。育児方法や出産の情報の多様化に伴い内容も検討をかさね、夫のサンラも取り入れた。H11年男女協働参画基本法が施行され、夫婦で子育てができる環境整備を図るようになった。乳幼児健康教室については、H22年度より子育て支援センターと協力して実施している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 参加した妊婦より土・日の開催や妊娠時期(初期、中期、後期)に合わせ教室の運営をして欲しいと要望あり。また、参加医療機関によっては妊婦教室を行っていない所もあり、市の事業に参加できた事で、育児に勇気をもって取り組めると感想があった。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 教室に参加することで、安心して妊娠・出産・育児ができるようになることは、子育て支援に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市で行うことで、参加者が妊娠・出産・や育児についての知識を学ぶとともに、母親同士の交流や仲間づくりの機会にもなる。また、妊娠中から早期にかかわることで、虐待防止につながる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 参加率を上げる必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教室に参加することで妊婦や子育て中の保護者の交流の場となり、出産や育児に対する不安の軽減にもつながっている。また母親学級(パパ・ママ教室)を開催していない医療機関もあるので子育てへの影響がでる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない パパ・ママ教室については、統廃合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない パパ・ママ教室は雇い上げ助産師で1回1時間依頼しているのみであるので削減余地はない。また、健康教室は各関係機関の経費で実施しているため、効率的な人員で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各教室対象者にはチラシ配布やパパ・ママ教室については、対象者への通知をして周知している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 教室の内容については、医療機関で実施されていない育児体験等ができる内容にしている。特に沐浴や助産師の講話は妊婦共に好評である。H27年度は妊婦21.5%、夫16.8%の参加率。現在は平日、1日コースで実施しているので、土・日や半日コースの開催等検討していく必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 開催回数・時間等参加者の意見を聞きながら内容等も含め検討していく																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---